



IPv6 組み込み管理コンポーネント

シスコ IPv6 組み込み管理コンポーネントは、IPv6 ネットワークおよび IPv6 と IPv4 のハイブリッドネットワークにおいて IPv6 に対応した操作性を実現します。このマニュアルでは、syslog、設定ロガー、TCL、NETCONF および SOAP メッセージフォーマットの各組み込み管理コンポーネントについて説明します。

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [IPv6 組み込み管理コンポーネントに関する情報, 2 ページ](#)
- [IPv6 組み込み管理コンポーネントの設定方法, 3 ページ](#)
- [IPv6 組み込み管理コンポーネントの設定例, 4 ページ](#)
- [IPv6 組み込み管理コンポーネントに関するその他の関連資料, 4 ページ](#)
- [IPv6 組み込み管理コンポーネントに関する機能情報, 5 ページ](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、『[Bug Search Tool](#)』およびご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

IPv6 組み込み管理コンポーネントに関する情報

Syslog

IPv6 におけるシスコ システム メッセージ ロギング (syslog) プロセスを使用すると、ユーザは IPv6 アドレスを指定して syslog メッセージを外部の syslog サーバやホストに記録できます。この実装では、ユーザはホストの IP アドレスを IPv4 形式 (たとえば 192.168.0.0) または IPv6 形式 (たとえば 2001:DB8:A00:1::1/64) で指定して、IPv4 ベースのロギング ホスト (syslog サーバ) を指定できます。

設定ロガー

設定ロガーは、変更を追跡したり報告したりします。設定ロガーでは、次の 2 つのコンテンツ タイプがサポートされています。

- プレーン テキスト：プレーン テキスト形式を使用すると、設定ロガーは設定変更だけを報告します。
- XML：設定ロガーは、XML を使用して設定変更の詳細 (変更内容、変更者、変更日時、Parser Return Code (PRC) 値、増分の NVGEN 結果など) を報告します。

TCL

IPv6 が Embedded Syslog Manager (ESM)、Embedded Event Manager (EEM)、音声自動応答装置 (IVR)、および tclsh パーサー モードなどの機能をサポートできるよう、シスコ ソフトウェアでは Tool Command Language (TCL) が使用されます。TCL は開始ソケット (クライアント) とリスニングソケット (サーバ) の両方をサポートします。

NETCONF

Network Configuration Protocol (NETCONF) では、ネットワーク デバイスの管理、設定データ情報の取得、および新しい設定データのアップロードと操作に使用できるメカニズムが定義されています。NETCONF は、設定データとプロトコル メッセージに XML ベースのデータ符号化を使用します。

Service-Oriented Access Protocol (SOAP) メッセージ フォーマット

Service-Oriented Access Protocol (SOAP) を使用すると、Cisco Networking Service (CNS) メッセージのレイアウトを一貫性のある方法でフォーマットできます。SOAP は、非集中型の分散型環境で構造化された情報を交換することを目的としています。XML テクノロジーを使用して、さま

さまざまな基本プロトコルで交換可能なメッセージフォーマットを提供する、拡張性のあるメッセージングフレームワークを定義します。

SOAP メッセージ構造には、CNS 通知メッセージがユーザ クレデンシャルを認証できるセキュリティ ヘッダーがあります。

IPv6 組み込み管理コンポーネントの設定方法

IPv6 を介した Syslog の設定

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **logging host** `{{ip-address | hostname} | {ipv6 ipv6-address | hostname}}` `[transport {udp [port port-number] | tcp [port port-number] [audit]}] [xml | filtered [stream stream-id]] [alarm [severity]]`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Device> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例 : Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	logging host <code>{{ip-address hostname} {ipv6 ipv6-address hostname}}</code> <code>[transport {udp [port port-number] tcp [port port-number] [audit]}] [xml filtered [stream stream-id]] [alarm [severity]]</code> 例 : Device(config)# logging host ipv6 AAAA:BBBB:CCCC:DDDD::FFFF	システム メッセージおよびデバッグ出力をリモート ホストにロギングします。

IPv6 組み込み管理コンポーネントの設定例

例：IPv6 を介した Syslog の設定

```
Device(config)# logging host ipv6 AAAA:BBBB:CCCC:DDDD::FFFF transport tcp port 1470
```

IPv6 組み込み管理コンポーネントに関するその他の関連資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
IPv6 のアドレス指定と接続	『IPv6 Configuration Guide』
Cisco IOS コマンド	『Cisco IOS Master Commands List, All Releases』
IPv6 コマンド	『Cisco IOS IPv6 Command Reference』
Cisco IOS IPv6 の機能	『Cisco IOS IPv6 Feature Mapping』

標準および RFC

標準/RFC	タイトル
IPv6 に関する RFC	IPv6 の RFC

MIB

MIB	MIB のリンク
この機能によってサポートされる新しい MIB または変更された MIB はありません。またこの機能による既存 MIB のサポートに変更はありません。	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポートおよびドキュメンテーション Web サイトでは、ダウンロード可能なマニュアル、ソフトウェア、ツールなどのオンラインリソースを提供しています。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

IPv6 組み込み管理コンポーネントに関する機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: IPv6 組み込み管理コンポーネントに関する機能情報

機能名	リリース	機能情報
IPv6 : 設定ロガー	12.2(33)SB 12.2(33)SRC 12.2(50)SG 12.2(50)SY 12.4(20)T 15.0(1)SY 15.0(2)SG Cisco IOS XE Release 2.1 3.2SG	IPv6 は、この機能をサポートします。 追加または変更されたコマンドはありません。

機能名	リリース	機能情報
IPv6 : NETCONF	12.2(33)SB 12.2(33)SRC 12.2(50)SG 12.2(50)SY 12.4(20)T 15.0(2)SG Cisco IOS XE Release 2.1 3.2SG	IPv6は、この機能をサポートします。 追加または変更されたコマンドはありません。
SOAP での IPv6 サポート	12.2(33)SB 12.2(33)SRC 12.2(50)SG 12.2(50)SY 12.4(20)T 15.0(2)SG Cisco IOS XE Release 2.1 3.2SG	IPv6は、この機能をサポートします。 追加または変更されたコマンドはありません。
IPv6 : TCL	12.2(33)SB 12.2(33)SRC 12.2(50)SG 12.2(50)SY 12.4(20)T 15.0(1)SY 15.0(2)SG Cisco IOS XE Release 2.1 3.2SG	IPv6は、この機能をサポートします。 追加または変更されたコマンドはありません。

機能名	リリース	機能情報
IPv6 での Syslog	12.2(33)SB 12.2(33)SRC 12.2(33)SXI 12.2(44)SE 12.2(44)SG 12.4(4)T 15.0(2)SG Cisco IOS XE Release 2.1 3.2SG	IPv6 におけるシスコ syslog プロセスを使用すると、ユーザは IPv6 アドレスを指定して syslog メッセージを外部の syslog サーバやホストに記録できます。 logging host コマンドが導入されました。

